

広報



# とうえい

昭和51年

毎月1日

発行

NO. 204



「花祭りの里」に  
にぎやかな

冬がやってきた

(国の重要無形民俗文化財に  
指定された花祭り)

## 季節の話題

歳末計画表

まず歳末に当たってやらなければならない仕事は何か—を家族で話し合って決めます。畳の取り換え、障子の張り換え、大掃除、正月用品の買い物など全部書き出します。そして、畳屋さんに取り換えをたのむ場合は家具を動かしたり、床下の掃除をしたりするので男手のある日を中旬頃に定め、あらかじめ予約をしておきます。当日が雨でも仕事ができるよう一間の家具を片づけておき、その部屋の畳を全部はがして即席の仕事場にできるよう雨天の対策も考えておきましょう。

おせち料理

核家族が進んで小世帯の家が多くなったせいか、おせち料理は少量を買うものと決めている人も少なくありませんが、買ったものだからどれも似た味になってしまうので、自家特製となるとひと味違ってきます。何となくもおせち料理はそれぞれ特別な意味を含んでいるものですから、それを買うのはお守り札をスパーで買うようなものでおまじないに過ぎなくなってしまうます。

大晦日

掃除もすみ、畳も新しく、障子は真っ白、やることはすべて終わってゆったりとした気分で大晦日を迎えたいものです。この一年世の中にはいろいろなことがありましたが、わが家の十大ニュースは何か、反省すべきことは何であったか、家族で話し合うのも意義あることです。

# 12月号

### 人口と世帯

11月1日現在  
( )内は前年比

人口	6,854人(-108)
男	3,269人(-52)
女	3,585人(-56)
世帯数	1,841戸(-14)

(住民基本台帳+外国人登録)

発行 東栄町役場

編集 企画課

印刷(豊橋) 親和プリント株式会社





多数の関係者が参集し、盛会に行われた  
中央簡易水ゆん工式典(青年の家講堂にて)

水源は、中設楽地内の大千瀬川の左岸に取水池を設けて取水し、ポンプ揚水で浄化場に送り、沈澱ろ過、滅菌したのち、国道一五一



給水が開始され、あとかたづけがはかどると——とある奥さん

# 中央簡易水道 便利になった日常生活 消火栓も初期防火に一役

## 待ちに待った給水開始

「水資源の豊かな地域でありながら、その水に町民はいつも不自由を忍んでいる。このことばどおり美しい川と森に囲まれた東設楽町は、豊富な水に恵まれながらその利用はじゅうぶんではありませんでした。しかし、ここに少規模飲料水供給施設に頼っていた住民が待ち望んでいた「中央簡易水道」が完成し、十月二十七日の午前九時、中設楽浄水場においてテープカットが行われ、待望の給水が開始されたのです。

家庭生活の変化と衛生思想の高揚、時代の推移とともに生活水としての水の需要は年を追って増加してきています。

ここに完成した中央簡易水道は

東設楽町の中央部にあって、月、中設楽、本郷、下田、川角の地域の一般家庭七百世帯、公営住宅、会社、事業所、学校、保育園の百二十施設の三千五百人の給水を目的に、昭和四十八年度より四カ年計画で着手し、本年度完成を見たのである。

水源は、中設楽地内の大千瀬川の左岸に取水池を設けて取水し、ポンプ揚水で浄化場に送り、沈澱ろ過、滅菌したのち、国道一五一

平均五百七十六とされていますが、飲料水としての用途の他に、百二十カ所に設置された消火栓により初期防火にも対応でき、大きな給水量は一日最大八百二十三、千五百七十万二千円と

### 中央簡易水道給水装置数

区 域	給 水 栓		消火栓
	一般家庭	公営施設事業所等	
中 設 楽	86	11	15
月	59	3	12
本 郷	367	40	46
下 田	191	18	24
川 角	35	5	5
計	738	77	102

### 総建設費の財源内訳

歳 入		歳 出	
区 分	金 額	区 分	金 額
	千円		千円
国庫補助金	72,600	工 事 費	385,505
県費補助金	80,375	用 地 費	2,556
町 債	194,900	補 償 費	2,233
町 費	33,842	事 務 費	27,125
分担金及び負担金	35,702		
計	417,419	計	417,419

期待が寄せられていま  
総事業費  
は、別表の  
とおり四億  
一千七百萬  
一千九百九  
円、その  
内国庫補助  
金一億五千  
二百九十七  
万五千円、  
起債一億九  
千四百九十  
万円、分担  
金及び負担  
金(受益者  
負担)が三  
千五百七十  
万二千円と  
なっていま

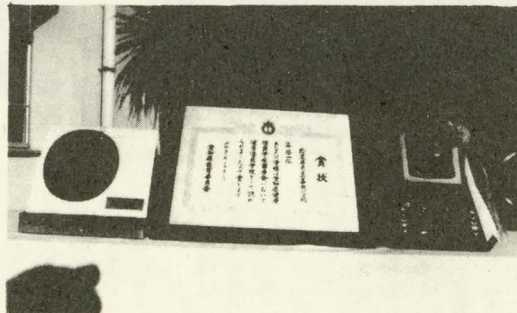


昨年度は「特選」、そして今年度は「準県一位」と続けて映えある表彰を受けた、中央小学校の保健活動の状況をお知らせします。中央小学校（前崎秀夫校長、七学級百五十一人）は、県下の十一学級以下の小規模校の中から応募されたなかで、書類—実地調査を

## “準県1位”の映えある受賞 (中央小) 保健優良学校に輝く 昨年の“特選”に続く快挙

総合したうえ、保健管理、保健教育にすぐれ、学校経営全般が適切であるとして選抜されたもので、十月十三日、名古屋の県歯科医師会館で開催された第二十五回県学校保健研究大会で、「準県一位」という同小学校は荣誉ある表彰を受

中央小に贈られた実績の数々



中央小学校がこのたびの表彰に値する保健活動のあらまはは次のとおりです。

同校の教育目標は「じょうぶでやさしくかしこい子」の育成を柱とし、東栄町の教育理想の「天・地・人の教育」の実現に努めています。

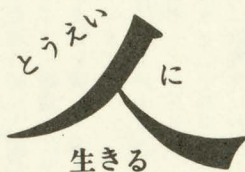
本年度の保健活動のねらいは、自分の体を正しく知り、体位の向上、体力の増進につとめ、自分の体を生涯とおして自己管理できる態度・意識を育て実践させようとする。このねらいを達成するために、ひとつの方策として「健康診断の活用」をとりあげました。

また、地域ぐるみの保健活動として、家庭においては明るい家庭づくりのために、それぞれの家庭

に必要なことを計画・実践しており、全会員についても、お茶つき、桜の木消毒、ガラスふき、運動場の整地、交通公園づくりなど環境整備の奉仕作業を行っています。

こうした活動を十月二十二日に蒲郡市で開かれた東三河学校保健研究大会の席上で実践発表し、各方面から注目を集めました。

これからも、PTA・学校・児童らが一丸となって保健活動を始め各種の活動を推進していただくことを期待しているものです。



### 小林児童館世話係 伊藤勅恵さん(46歳)

振草小林の小さな部落に唯一の保育所として地域の人たちからたよりにされている小林児童館の世話係。こどもたちからも「先生、先生」とたいへん慕われている。

この仕事を始めてからもうすぐ五年目。四十七年から前任者を引き継ぎ、こどもの世話を自分に合った仕事としてがんばっている。小林児童館というのは、昭和四

### 町総ぐるみで 快いあいさつをしよう

#### 心の交流を!

朝夕、行き交う小学生や中学生が明るい笑顔で「おはようございます」「さようなら」と大きな声で快いあいさつをしています。その対象は、先生や友だちだけでなく、多くの町の人々にもむけられ道行く人々の心をなごませ明るくしてくれれます。

そこで、東栄町PTA連絡協議

十年四月一日から小林小学校が粟代小学校と統合したことによって、廃校となったその見返りとして、地域の組織活動の育成助長を図るために開かれたものです。

伊藤さんは、現在四人のこどもの世話をしていますが、もう一日



の仕事量はたいへんなもの。こども数は少なくてもそこは何んといつても入学前のこども——目を離すことはできません。

会では、小中学生の心情に慮えて「われわれもこどもたちに心をこめてあいさつをしようではないか」という意見の一致をみたのです。小中学生のこの気持ちをたいせつにし、正しい社会性を育てるために、おとなのかたもつとめてあいさつを交わし心の交流をはかることをお願いします。

でも、むじゃきに遊んでいるところを見ているとなんとも言えない開放感に満ち、農業やパートに出かけるおかあさんのものから一日離れて楽しく過ごすこどもたちを、自分のこどもと同じようにかわいがり世話をしていることは、苦勞も多いけれどもいつのまにかそれも忘れ、一日中笑いのたえない明るいふんい気の中で過ごしています。こども好きのやさしい伊藤さんです。

四十七年からこの仕事に愛情をもって勤め、ここから育った八人のこどもたちは、今元気に小学校で勉強に運動にと、伊藤さんの教えを胸に抱きがんばっています。伊藤さんは最後に、「これまで巣立っていったこどもたちが、ここの生活をいつ・どこにいてもなつかしく、また一生の思い出として振り返ってもらえれば最高の幸せです。」と話していました。



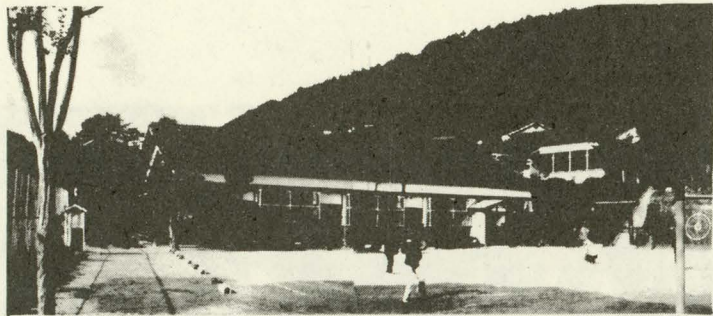
本校は明治八年十二月蘭目学校東蘭目分校として長泉寺の一部において開校され、明治二十年から四年間西蘭目学校と併合するなど幾多の変遷の中に百余年、村人の心の寄り所として今日に至りました。

今、卒業生により「学校創立百年」の記念誌発行も計画されつつあります。

# 学校訪問

(6) 東蘭目小学校  
注目される合同体育  
全児童数 12名

きれいに整備されている  
東蘭目小学校



## ①教育目標

- 心身ともに健康でたくましい子
- 明るく健康な子
- よく考え進んで行う子
- 最後までやりとげる子
- 力を合わせ行う子
- 郷土を愛する子

## ②学校経営の努力点

- 児童、教師の一人一人が「明るく充実感に満ちた学校づくり」をめざす。
- ①児童、教師、父兄相互に愛情と信頼をもとに教育目標に努める。
  - ②ことばだけの「健康と安全」におわることなく、教師は手本となつて保健指導にあたる。
  - ③体育の授業研究を進める。
  - ④親と子が協力して本の良さを味わい、読書の習慣をつけさせる。

## ③特色ある活動状況

- ①郷土の遊具を利用した合同体育  
昨年度から全児童による合同体育の授業を一週一時間行ってきたが、今年度は学年に応じた指導計画を特別編成し、体育の全授業を合同で実施し極少数人数による指導上の悩みを解消している。
- 特に本年は、授業に郷土の遊具竹馬、たが回し、木登り等を利用した学習内容を取り入れ、郷土に立脚した指導と興味をもたせている。教育事務所からもユニークな体育指導であると評価されている。
- ②一人一鉢菊作り……情操と体験学習の一つとして、全児童・全職員による一人一鉢の菊作りを行う。十一月月上旬には大輪の花も咲き、展示会を開いて鑑賞し楽しく話合った。
- ③校外学習……視野を広め教育的諸施設を最大限に学習に活用しようと、全学年計画的に、御園の「天文教室」、柴石峠の「化石学習」、遠足を兼ねての「自然との対話学習」などを実施している。清流での親子による魚つりも年中行事となっている。
- ④教員住宅の補修……先生が安心して教育に専念できるようにと、町・区当局の計らいによりへき地校にはぜひ必要な教員住宅が完成し、九月より二人の先生が入居している。学校の近くなので時にはこどもたちの学習の場にも利用されている。

## みごと東栄中に栄冠!

### 郡中学校、長距離大会 日々の猛練習が実を結ぶ

十一月十三日、北設楽郡中学校長距離継走大会が津具村において開催されました。この大会は本年度が第十九回にあたり、参加チーム数は十八で、東栄中からは三チームが出場しました。

秋晴れの肌寒いこの日、猛練習を積んだ各チームの選手によって熱戦が展開されましたが、最後まで予断を許さぬ戦況の中で東栄中Aチームが優勝の栄冠を手に入れました。

職員による一人一鉢の菊作りを行う。十一月月上旬には大輪の花も咲き、展示会を開いて鑑賞し楽しく話合った。

## 保健婦から おかあさんへ

### ＊母親教室 ＊妊婦検診

- ◎日時  
十二月十六日(木)  
午後一時十五分～二時半母親教室  
午後二時半～四時 妊婦検診
- ◎テーマ  
「妊婦中の栄養、赤ちゃんの保育」
- ◎場所  
産業会館保健室(二階)
- ◎対象  
東栄町内全妊婦
- ◎費用 無料
- ◎持参するもの  
母子手帳

### ＊乳児検診

- ◎日時  
十二月二十三日(木)  
午後一時～三時
  - ◎場所  
保健センター
  - ◎対象  
昭和五十年十二月、昭和五十一年二月、四月、六月、八月、十月中に生まれたお子さん
  - ◎費用 無料
  - ◎持参するもの  
母子手帳
- なお、同時に二カ月児と一歳児をおもちのおかあさんの簡単な母親検診も実施します。



### 東栄病院 御殿診療所開設

#### 11月1日から始まった 御殿診療所での診察



拍手に迎えられ第1歩を踏み入れた  
関本御殿診療所長ら

- 開設日 毎週月・金曜日
- 受付時間 午後2時～3時30分
- 診療所長 関本英子先生



町内11の代表者に指定証の授与

東栄町内十一カ所ので毎年十一月下旬から翌年一月上旬にかけて行われている無形文化財「花祭り」が、国の重要無形民俗文化財として指定するよう文化庁の文化財保護審議会により文部省へ答申されましたが、このほど、五月四日に文部大臣より正式に重要無形民俗文化財として指定され、六月十九日に文化庁長官より指定証が授与されました。

この伝達式が、十月の初めに役場会議室において、町内十一カ所の代表者が参集し、町長から指定証が手渡されました。

## 国の重要無形民俗文化財に 「文部省より正式指定」 町内十一カ所開催の花祭り

社会を美しく情ちょう豊かな生活を営むために、家庭・学校・その他の愛好者を育てようとするこ

### 菊花展

#### 推せんに森下保夫氏 ふえた菊づくり愛好者

がねらいとされている菊作りは、今では一般家庭にも広く普及しており、その成果を見るべき菊展が十一月三日～七日までの文化祭に開かれ、今回も多くのかがりつばな菊を出品しあざやかな

色彩を見せてくれました。どの作品も甲・乙つけがたいものばかりで、審査員が慎重に審査した結果、次のかたがたが推せんと優等に入賞しました。なお、この入賞者には中日新聞社から中日賞が贈られました。

(敬称略)

- ◎ 推せん 森下 保夫
- ◎ 優等 村上惣太郎、鈴田久次、小戸森立子、鈴木憲一、伊藤清一、新谷庫

### 東栄町消防団に輝く表彰

#### ☆優れた諸活動の成果実る☆

このほど東栄町消防団(湯浅敬介団長・団員四百三十八名)は、十一月三日の文化の日に愛知県庁において愛知県表彰条例による表彰を受けました。

これは、常に団員一致して消防技能の練磨に励むとともに消防機械の整備強化に努め、

また防火思想の普及高揚、山間地に即応する防火体制の確立等に力を尽すなど消防活動に顕著な成果を収め、県下消防団の模範であるとして表彰されたものです。



東栄町消防団に贈られた  
表彰旗と表彰状

衆議員議員総選挙  
最高裁判所裁判官国民審査

## 投票日 12月5日

「良い人を  
選んで明るい国づくり」



# 〒郵便局だより 小包は十五日まで 「年賀状は二十日まで」

◎小包は十二月十五日までに

十二月にはお歳暮を中心に、東海地方だけでふだんの月の約一・七倍にあたる二百七十万個の小包が出されるものと予想されます。郵便局では小包は年内にお届けするため万全を期していますが、十二月半ばを過ぎて出されずと、年賀状の処理とも重なって年内配達ができなくなる場合がありますので、ぜひ早めに遅くとも十五日までにお出しください。

なお、小包の包装は運送途中でこわれたり、中身が抜け落ちたり液体がしみ出て他の小包を汚したりすることがあります。郵便局では取り扱いにじゅうぶん注意しておりますが、しっかりとひもをかけ念入りに包装してください。そして、郵便番号も表面右上にあて先の郵便番号を大きくはつきりと書いてください。

◎年賀状は十二月二十日までに  
ことしも十二月十五日から年賀状の受付がはじまります。あわただしい年末の年賀状書きはとく遅れがちですが、土・日曜日を利便して家族そろって年賀状を書く日を定めるなど、みんなで楽しく早めに書いて元旦には先方に届くよう二十日までにお出しください。

## 替の手続きを忘れずに 期限は五十二年一月十三日

なお、年賀状を迷子郵便にしな

郵便局では、ただいま昭和四十九年九月二十三日以前にお預けになった定額貯金の利息が有利になっています。この取り扱いは昭和五十二年一月十三日までとなっており、まだ済んでいないか

替の手続き(替の手続)を取り扱っています。この取り扱いは昭和五十二年一月十三日までとなっており、まだ済んでいないか

## 「戸籍謄本の請求には 「使用目的」を明らかに、 12月1日から実施!

十二月一日から戸籍謄本(抄本)戸籍記載事項の証明を含む)の交付請求のし方が改正されます。改正の理由は、戸籍を不当に利用して国民のプライバシーを侵害することのな

く大きい。  
(一)あて名は丁目、番地まで正確に  
(二)団地やアパートにお住まいのかたへは「〇〇団地〇棟〇号」「〇〇荘〇号室」のように  
(三)同居や下宿をされている方あてのものは「〇〇様方」のようにくわしく書いてください。また、郵便番号も忘れずに正しくはつきりとお書きください。  
たはお手本の定額貯金証書の日付を確かめたうえで、早めにお近くの郵便局へお持ちください。  
手続きは簡単です。定額貯金証書をお近くの郵便局までお持ちいただければ、郵便局では定額貯金証書に(替)の表示をいたします。  
いようにすることになります。  
今後、他人の戸籍や除籍の謄本を請求するときは「請求の事由」つまり何の目的に使用するかを具体的に示していただくこととなります。もし、その請求が不当な目的によるものであるときは、これに應じられないこととなります。また、戸籍の閲覧はできなくなります。  
なお、郵便で請求する場合の手数料は、必ず現金書留か郵便局の定額小為替で納めてください。  
注 意  
本人といつわつたり、うその事由を示して戸籍の謄本の交付を受

# ふるさと歌壇 互選首

〈十月詠草歌〉 第一七六回

枝と枝交えて太る大杉の根元たくまし震ふがに伸ぶ 伊藤 静  
彼岸過ぎつばめの姿消え去りてすすきの穂並風にゆれおり 大野 むつみ  
舌三寸とろりと甘くかつにがくほのかに香る茶をすすするなり 佐々木 憲  
台風の過ぎし夜更けの静けさに土間のこほろぎ鳴くを聞き入る 鈴川 三重  
電話かける事覚しか幼等は御元気ですかと今日もかけ来る 岩倉 源三郎  
おぼれゆく重心のなき朝なりくぼみし鎌を丹念にとぐ 原田 芳子  
虫の音もしばしとだへて日暮れどき舌戦はげし今町議選 仁木津 美恵  
一群のすすきの穂波陽に光り秋深みゆく森の畑の 柳 沢 美智子

### 「第28回人権週間」

○期間 昭和51年12月4日～10日まで  
○強調事項  
(1)人類の共存 お互いに人権を尊重しよう  
(2)部落差別の解消  
(3)婦人の地位向上

## 戸籍の窓口

よるこび 出生児 保護者 住所

栗林 美保	喜一	足込
小林 太市	正 呉	〃
山本 純也	恭 司	中設楽
かなしみ		
氏名年齢		
平賀 きみ(78)	世帯主	住所
滝川 婦美(77)	安達一	御園
栗下 くら(86)	藤 作	本郷
伊藤いとみ(69)	権一郎	足込

〈十月受付分〉